



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 フリュー株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6238 URL <https://www.furyu.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三嶋 隆  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部 部長 (氏名) 谷 直樹 TEL 03-5728-1761  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,974	22.5	1,315	93.4	1,262	97.6	840	101.8
2023年3月期第1四半期	8,142	1.8	679	△42.9	639	△45.8	416	△48.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 981百万円 (92.8%) 2023年3月期第1四半期 509百万円 (△37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	31.77	—
2023年3月期第1四半期	15.21	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	25,608	20,129	78.6
2023年3月期	25,932	20,152	77.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 20,129百万円 2023年3月期 20,152百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	7.1	2,500	17.1	2,500	14.7	1,735	20.2	65.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	28,296,000株	2023年3月期	28,296,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,855,966株	2023年3月期	1,855,966株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	26,440,034株	2023年3月期1Q	27,360,234株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への位置付け変更が実施され、ウィズコロナ下による社会経済活動の正常化は新たな局面を迎えており、その影響による個人消費の持ち直し傾向はより顕著なものとなっております。一方で、欧米諸国との金利差による為替の円安傾向継続、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の高騰など、景気動向には先行きの不透明さが引き続き存在しております。

このような環境において当社グループは、企業理念「人々のこころを豊かで幸せにする良質なエンタテインメントを創出する!」のもと、プリントシール事業の拡大、若年女性層の顧客基盤を活用したマネタイズの多様化、キャラクターIP(知的財産)を利用した商品販売に注力し、2024年3月期を初年度とする「中期ビジョン」実現のための取り組みを行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は9,974百万円(前年同期比122.5%)、営業利益は1,315百万円(前年同期比193.4%)、経常利益は1,262百万円(前年同期比197.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は840百万円(前年同期比201.8%)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較は、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値と比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

#### (世界観ビジネス)

世界観ビジネスにおきましては、定番キャラクターや、人気漫画作品及び世界的人気ゲーム等の多数のIP権の獲得とその商品化に引き続き注力しました。

商品の生産は主に中国で行っており、ドル建てでの決済が多く、利益面では円安による影響は継続しております。

クレーンゲーム景品は、円安に伴う仕入原価の高騰で利益率は低下傾向ではあるものの、クレーンゲーム市場拡大と複数の人気IPの商品化による相乗効果の結果、売上規模は大きく拡大しております。

海外物販は、主要マーケットである中国・アメリカにおける受注が低調であり、売上は減少しております。

高価格帯ホビーは、2023年3月にホビーECサイト「FURYU HOBBY MALL(フリーホビーモール)」を開業し、従来の高価格帯に加えて中価格帯まで商品展開のバリエーションを拡張し、商品の受注状況も好調のため前年を上回る売上となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,572百万円(前年同期比150.4%)、営業利益は726百万円(前年同期比316.7%)となりました。

#### (ガールズトレンドビジネス)

プリントシール事業におきましては、新型コロナウイルス感染症がもたらしたライフスタイルの変化は消費者行動にも影響を及ぼしており、プレイ回数は依然としてコロナ禍以前の水準までは回復しておりません。このような厳しい市場環境が続く中、プレイ回数の回復に向けて人気キャラクターの「推し活」をテーマにしたコラボの実施や、「本格ホラー体験」を売りにした機種種の投入など、新規顧客獲得のための販促施策を実施しました。また、6月に新機種「MY PALETTE(マイパレット)」を発売しました。以上から、当第1四半期連結累計期間のプレイ回数は767万回(前第1四半期連結累計期間は766万回)となりました。

プリントシール画像取得・閲覧サービス「ピクトリンク」におきましては、重要なKPIと位置付けている有料会員数は、緩やかな回復傾向が継続しておりますが、季節要因により2023年3月末からは一時的に減少し、2023年6月末時点で145万人(2022年6月末時点は143万人)となりました。今後の当サービスのさらなる成長戦略として、5月にプレミアム会員向けにフォトストレージ・サービス「PiCTLINK photos」をリリースしており、段階的に対象会員を拡大してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,617百万円(前年同期比107.5%)、営業利益は1,072百万円(前年同期比114.5%)となりました。

（フリーニュービジネス）

家庭用ゲームソフト事業につきましては、既存タイトルのDL版や海外販売に注力し収益を獲得しました。また、7月発売の新作タイトル「クライマキナ／CRYMACHINA」の宣伝活動も実施しました。

ゲームアプリ事業においては、当社が扱う女性向け恋愛シミュレーションゲームの市場が縮小傾向のため、一部タイトルのサービスを終了する一方、今後の顧客拡大のため、新規タイトルの開発に取り組んでおります。

アニメ事業は、昨年ヒットした映画「ゆるキャン△」のBlu-ray・DVDの販売が好調に推移しました。同シリーズの関連商品の販売も売上に大きく貢献しており、主力タイトルとして成長を続けております。

カラーコンタクトレンズ事業につきましては、自社ブランドである「BELLSIQUE（ベルシーク）」の発売3周年記念キャンペーンなどを行いました。また、昨年実施した自社ECサイト「Mew contact（ミューコンタクト）」のリニューアルにより、サイトの顧客利便性改善を図っており、引き続き顧客流入数を増加する取り組みを進めております。

データ広告事業につきましては、既存取引先の受注額増加に伴い、売上は前年より増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は785百万円（前年同期比73.3%）、営業損失は81百万円（前年同期は96百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が25,608百万円、負債が5,478百万円、純資産は20,129百万円となりました。また、自己資本比率は78.6%となりました。

（資産）

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ323百万円減少し、25,608百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加974百万円があった一方で、現金及び預金の減少1,035百万円、有形固定資産の減少329百万円があったことによるものであります。

（負債）

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ300百万円減少し、5,478百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加337百万円があった一方で、電子記録債務の減少452百万円、受注損失引当金の減少81百万円があったことによるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、20,129百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加840百万円があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,004百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,800,352	9,764,384
受取手形及び売掛金	4,250,802	4,204,649
電子記録債権	1,293,139	1,294,986
棚卸資産	2,422,466	3,396,615
その他	2,099,819	2,216,609
貸倒引当金	△5,422	△1,398
流動資産合計	20,861,156	20,875,846
固定資産		
有形固定資産	2,665,613	2,335,909
無形固定資産	667,939	732,647
投資その他の資産		
その他	1,755,785	1,682,590
貸倒引当金	△18,332	△18,332
投資その他の資産合計	1,737,452	1,664,257
固定資産合計	5,071,005	4,732,814
資産合計	25,932,162	25,608,661
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	734,435	951,661
電子記録債務	1,565,204	1,112,739
未払法人税等	100,180	438,053
賞与引当金	—	259,677
受注損失引当金	182,815	101,071
その他	2,911,638	2,306,887
流動負債合計	5,494,273	5,170,090
固定負債		
退職給付に係る負債	278,350	301,870
その他	6,996	6,958
固定負債合計	285,347	308,829
負債合計	5,779,620	5,478,919
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,639,216	1,639,216
資本剰余金	1,614,716	1,614,716
利益剰余金	19,024,692	18,860,012
自己株式	△2,000,368	△2,000,368
株主資本合計	20,278,255	20,113,575
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△59,116	80,838
退職給付に係る調整累計額	△66,597	△64,672
その他の包括利益累計額合計	△125,713	16,166
純資産合計	20,152,541	20,129,741
負債純資産合計	25,932,162	25,608,661

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
売上高	8,142,259	9,974,917
売上原価	4,270,019	5,633,609
売上総利益	3,872,240	4,341,308
販売費及び一般管理費	3,192,311	3,026,137
営業利益	679,928	1,315,171
営業外収益		
助成金収入	21	509
補助金収入	5,196	—
その他	30	43
営業外収益合計	5,247	553
営業外費用		
支払利息	108	94
為替差損	45,943	52,649
その他	—	62
営業外費用合計	46,052	52,806
経常利益	639,123	1,262,918
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	639,123	1,262,918
法人税等	222,895	422,876
四半期純利益	416,228	840,041
親会社株主に帰属する四半期純利益	416,228	840,041

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	416,228	840,041
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	91,293	139,955
退職給付に係る調整額	1,713	1,924
その他の包括利益合計	93,006	141,880
四半期包括利益	509,234	981,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,234	981,921

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	世界観ビジネス	ガールズトレンド ビジネス	フリーニュー ビジネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,705,646	3,365,760	1,070,852	8,142,259	—	8,142,259
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,705,646	3,365,760	1,070,852	8,142,259	—	8,142,259
セグメント利益又は損失 (△)	229,334	936,589	△96,536	1,069,388	△389,460	679,928

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△389,460千円には、セグメント間取引600千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△390,060千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	世界観ビジネス	ガールズトレンドビジネス	フリーニュー ビジネス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,572,129	3,617,680	785,106	9,974,917	—	9,974,917
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,572,129	3,617,680	785,106	9,974,917	—	9,974,917
セグメント利益又は損失 (△)	726,383	1,072,470	△81,772	1,717,081	△401,910	1,315,171

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△401,910千円には、セグメント間取引780千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,690千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、2024年3月期を初年度とする「中期ビジョン」を達成するために、ビジネスモデルを軸としたマネジメント体制に変更し、さらなる企業成長及び企業価値向上を目指しております。それに伴い、報告セグメントを従来の「プリントシール」「コンテンツ・メディア」「キャラクター・マーチャンダイジング」「ゲーム」の4区分から、「世界観ビジネス」「ガールズトレンドビジネス」「フリーニュービジネス」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。